

東北海区沿岸水温予報(2020年)

海域	経過 (4～6月)	現況(7月上旬～ 7月中旬)	見通し (8～9月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:5月から6月は平年並み～かなり高めで推移した。</p> <p>・6月の海洋観測の結果、津軽暖流域の水温は、表面でやや高め、50m層でやや低め、100m層で平年並みであった。また、水塊深度はかなり深め、津軽暖流の東方への張り出しははなはだ東偏であった。。</p>	<p>・定地水温は平年並み～やや高めで推移。</p>	<p>・津軽暖流域の水温は平年並みからやや高めで推移する。</p>	<p>・FRA-ROMSによると、8月は平年並みからやや高めと予測されている。</p> <p>・津軽暖流の張り出しは東偏傾向がみられている。</p>	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>4月【4/7～4/9】 《表面水温》 10海里以内は8～9℃台であり、全域でやや高め～高めであった。 10海里以遠は、沖合域に行くにつれて高めとなっており、特に県北部沖から県中部沖の30海里以遠では高め～極めて高めであった。 《100m深》 10海里以内は、やや高め～高めであった。 10海里以遠は、沖合域に行くにつれて高めとなっており、特に県北部沖から県中部沖の30海里以遠では高め～極めて高めであった。</p> <p>5月【4/27～4/29】 《表面水温》 10海里以内は、8～9℃台であり、全域で平年並みであった。10海里以遠は、県北部沖から県中部沖の30海里以遠で平年並み～やや高めであった。 《100m深水温》 10海里以内は、全域で平年並み～やや高めであった。 10海里以遠は、県北部沖及び県南部沖の20海里以遠でやや高め～高めであった。</p> <p>6月【6/1～6/3】 《表面水温》 10海里以内は11～13℃台であり、平年並み～やや高めであった。 10海里以遠は、県北部沖から県中部沖の50海里以遠、県南部沖の40海里以遠で平年並み～やや低めであった。 《100m深》 10海里以内は、平年並み～高めであった。 10海里以遠は、沖合域ほど高めとなっており、特に県北部沖から県中部沖の20～50海里でやや高め～高めであった。</p>	<p>7月【7/8～7/11】 《表面水温》 10海里以内は15～19℃台であり、平年並み～高めであった。 10海里以遠は、県北部沖から県中部沖の20～30海里でやや高め～高めであった。 《100m深》 10海里以内は平年並み～やや高めであった。 10海里以遠は、40海里以遠で平年並み～やや低めであった。</p>	<p>予測される8月の水温は、各0海里定点の10m深は全ての定点でやや高め、100m深は県北部から県中部の沿岸域でやや高め。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>3月上旬から6月下旬までのまき網によるマイワシ水揚量は1,766tで、過去5年比で3.1倍となっている。なお、前年同期は水揚げがなかった。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>4月:表層・100m層ともに平年より1～4℃高め。特に142°E以東が高水温。 5月:表層は1～4℃高め、142°E以東で高水温が顕著。100mでは1～2℃高め。 6月:仙台湾内及び湾口付近では2～3℃高め。142°E以西は平年並み、142°E以東では表層で1～2℃高め。</p>	<p>表層水温は平年並みから1℃高め、水深100mは38°Nラインを中心に142°E以東に冷水が波及し1～3℃低め。142°E以西では1～2℃高め。</p>	<p>【100m水温】 8月:38°Nラインでやや低め、他の海域で平年並み。 9月:38°Nラインの142°30'以東でやや低め、他の海域で平年並み。</p>	<p>自己回帰係数固定モデルによる。</p>	特になし。

<p>常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)</p>	<p>100m深水温 【4月】 県北沿岸、沖合ともに「やや高め」、 県中沿岸、沖合ともに「平年並み」、 県南沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」</p> <p>【5月】 県北沿岸、沖合ともに「やや高め」 県中沿岸、沖合ともに「極めて高め」、 県南沿岸、沖合ともに「極めて高め」</p> <p>【6月】 県北沿岸、沖合ともに「平年並み」 県中沿岸、沖合ともに「平年並み」 県南沿岸は「高め」、沖合は「極めて高め」</p> <p>※県北：37° 50'N、県中：37° 25'N、 県南：37° 00'N、 沿岸：142° 00'E以西、 沖合：142° 15'E以东</p>	<p>100m深水温 【7月上旬～中旬】 県北沿岸は「平年並み」、 沖合は欠測 県中沿岸は「平年並み」、 沖合は欠測 県南沿岸は「平年並み」、 沖合は欠測</p>	<p>【8月】 「平年並み」、もしくは 「平年より高め」 で推移する。</p> <p>【9月】 「平年並み」、もしくは 「平年より高め」 で推移する。</p>	<p>気象庁の海面水温・海流1ヶ月予報(7月10日発表)によると、8月10日までの本州東方の海面水温は「平年より高い」か「かなり高い」見込みであり、親潮は「南限位置は39.5° N、146.5° E付近」になり、「面積は、平年よりかなり小さい」と予測されている。</p> <p>また、FRA-ROMS発表の2020年7月予測水温偏差及び8月～9月上旬にかけての100m深水温によると、8月の福島県海域の水温は平年並みか平年より2～4℃高めとなり、9月上旬でも親潮系暖水の波及は継続するため、この傾向は続くと思われる。</p> <p>以上のことから、8月から9月にかけて「平年より高め」で推移すると予測した。</p>	<p>特になし。</p>
<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)</p>	<p>4月：南部・沖合では黒潮の影響によって顕著な昇温が見られ、全体的に「平年並～高め」だったが、会瀬定線の0～100m深141.75°付近では「やや低め」だった。</p> <p>5月：前月と比較すると、黒潮の影響によって北部ほど昇温の傾向が強く、会瀬定線の0～100m深の一部では7℃以上昇温した。一方で黒潮流路が離岸した犬吠埼定線の沖合域では降温した。平年と比較すると、0・200m深で「平年並～高め」、50・100m深で「平年並～極めて高め」となった。大洗以北では「高め」や「極めて高め」といった平年よりも高い水温が観測された。</p> <p>6月：前月から黒潮系暖水に広く覆われたことにより、全体的に水温が高く、概ね「平年並～高め」だった。さらに、50・100m深の会瀬～大洗定線では「極めて高め」がみられた。</p>	<p>7月：常磐北部からやや冷たい水が南下した影響と日照不足により前月と比べると全層・全域で降温したが、平年と比べると、黒潮からの暖水波及の影響により0・200m深では「平年並～やや高め」、50・100m深では「平年並～高め」となった。</p>	<p>「平年並～やや高め」で推移する。</p>	<p>①FRA-ROMSによると、沿岸域の水温は、8月上旬に表層で「平年並み～やや高め」、100m深で「やや高め～高め」で推移すると予測だった。</p> <p>②気象庁の1か月予報(7/20発表)によると、向こう1か月の本州東方の海面水温は、「平年並」か「平年より高い」との見通しである。</p> <p>③以上より、今後の水温は「平年並～やや高め」で推移すると予測した。</p>	<p>①1～6月の曳釣によるタチウオの漁獲量が2000年以降で最多となった。</p> <p>②6月17日、県内底曳船にキンメダイの混獲があった。</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～